

みんなで支えあうまちづくり

社協だより みかさ



《第35回三笠市福祉スポーツ大会》7月6日(金)2年に1度開催される福祉スポーツ大会が三笠ドームで開催されました。お年寄りや、障がいのある方が子どもたちと一緒にスポーツで汗をかき、楽しい一日を過ごしました。



本紙は赤い羽根共同募金の助成金で発行されています。

も	● 役員の改選について……………	2
	● 平成23年度事業報告……………	3
	● 平成23年度決算……………	4
<	● 平成24年度事業計画……………	5
	● 予算24年度予算……………	6
う	● 社会福祉基金寄付者……………	7
	● 社協ケアプラン相談センター……………	8

平成24年
8月12日号

題字 小林市長

平成23年度事業報告

1 自立と社会参加活動の推進

ふれ愛チームによる声かけ、安否確認、訪問、見守り活動を行っております。

▼4カ所「清住町内会、初音町団地町内会、柏町南町内会、高美町睦各ふれ愛チーム」

ふれあいサロンは地域のお年寄りが集い、自主的に自由な仲間作りを行っております。

▼12カ所「初音町団地、柏町南、本町地区、榊町公住、高美町睦、榊町中央、清住、弥生、榊、若松東親交会、宮本しらかば、弥生桜木各ふれあいサロン」

高齢者が集い近隣の連帯感を深め、交流を図る目的でふれあい昼食会を開催しております。

▼22カ所「三笠支部「幸町東区町内会」、三笠支部「若松町東親交会」、三笠支部「多賀町西親交会」、三笠支部「美和親交会」、山の手支部「高美町睦会」、萱野支部、幾春別支部「宮下町内会」、幾春別支部「北栄町内会」、三笠支部「本町西町内会」、三笠支部「宮本町町内会」、唐松支部「清住町内会」、幾春別支部「東区町内会」、幾春別支部「千住町内

会」、山の手支部、三笠支部「幸町北区町内会」、三笠支部「堤町親交会」、唐松支部「春光町町内会」、幾春別支部「栗丘町内会」、幾春別支部「幾春別仲通り町内会」、弥生支部「花園会」、三笠支部「本郷町町内会」、三笠支部「大里東町内会」

在宅重度障がい者研修の実施

▼平成23年11月8日(火)／上砂川町「上砂川岳温泉・パンケの湯」／参加者29名

ななかまど共同作業所

▼通所者／8名

2 在宅福祉サービスの拡充

ぬくもり除雪サービス事業

▼登録世帯311世帯

居宅介護支援事業

- ▼ケアプラン作成……………391件
- ▼介護予防プラン作成……………69件
- ▼要介護認定更新調査……………158件
- ▼たすけあい金庫……………2,616,000円
- ▼生活福祉資金貸し付け(北海道社協実施)

3 地域福祉の拠点づくり

ボランティアセンターを中心に活動の拠点の整備

▼活動延べ人数／493名

▼学童・生徒のボランティア活動

▼三笠小学校、三笠中学校

▼ボランティア育成・研修(ボランティアスクール)

▼参加者27名「研修(車椅子介助、東日本大震災について)、見学(千歳市防災学習センター)」

▼ボランティア除雪

▼4団体(21世帯23回)

▼手話教室

▼初級2名(全8回開催)

▼ふれあい健康センター喫茶ボランティア

▼214日／延べ458名

▼からだに優しい料理教室

▼2回／参加者延39名

▼福祉の店「ななかまど」

▼来店者延200名(6日間)

4 その他

▼東日本大震災義援金……………8,579,434円

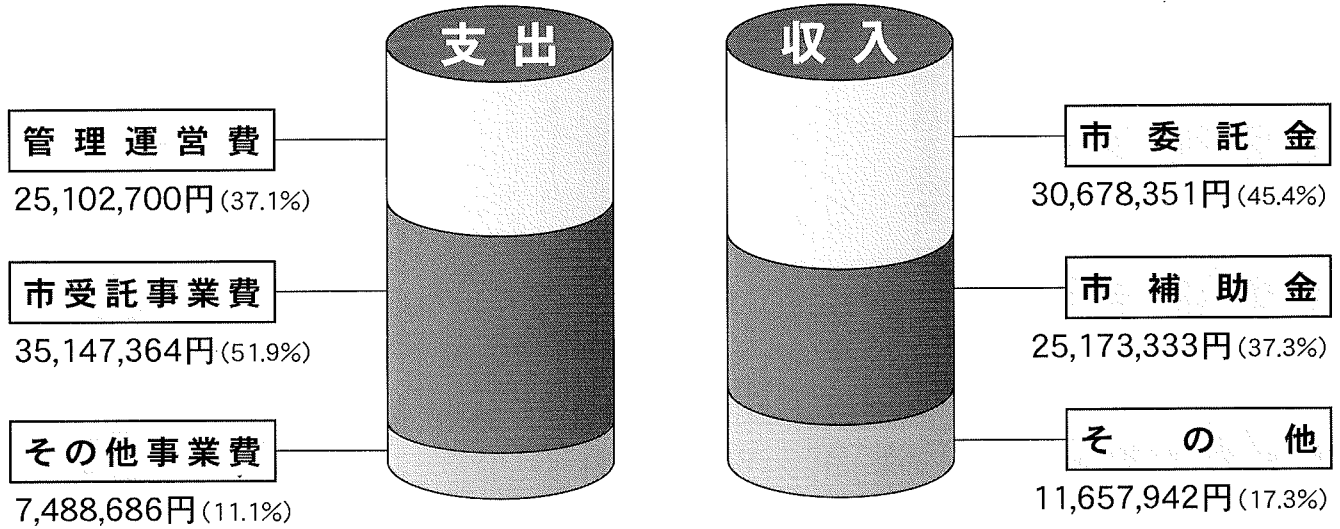
▼共同募金受付分……………4,117,349円

▼日赤受付分……………4,462,085円

▼赤い羽根共同募金運動……………2,026,357円

▼歳末助け合い運動……………1,667,759円

平成23年度 社協一般会計決算 67,738,750円



平成23年度社協一般会計決算報告

(単位:円)

支 出		収 入	
科 目	決算額	科 目	決算額
法人運営事業	25,102,700	会費収入	987,800
ぬくもり除雪サービス事業	14,890,011	寄付金収入	1,466,060
共同募金配分事業	2,893,348	経常経費補助金収入	26,187,851
ボランティアセンター事業	1,151,198	受託金事業収入	30,678,351
老人福祉センター運営事業	15,296,112	貸付事業収入	2,735,000
共同作業所運営事業	4,961,241	事業収入	1,151,965
助け合い金庫事業	2,789,109	共同募金配分金収入	2,993,348
地域活動事業ほか	655,031	負担金収入	23,000
		雑収入	638,727
		受取利息配当金収入	5,078
		経理区分間繰入金収入	619,670
		積立預金取崩収入	22,776
支出合計	67,738,750	収入合計	67,509,626

※収入、支出で不足する229,124円については、活動収支資金より補てん

基金等の残高

基本金	4,000,000	ボランティア基金積立金	2,987,627
社会福祉基金積立金	168,507,685	退職金引当金	14,254,248
国際障害者年基金積立基金	933,074		

平成23年度公益事業会計決算報告

支 出		収 入	
科 目	決算額	科 目	決算額
居宅介護支援事業	5,224,553	介護保険収入	4,641,082
		雑収入ほか	197
支出合計	5,224,553	収入合計	4,641,279

平成23年度共同募金会計決算報告

寄附金会計	7,837,464	(収入、支出同額)
事務費会計	479,115	(収入、支出同額)

平成24年度事業計画

昨年3月11日に東北地方太平洋沖で発生した巨大地震により、東日本を中心として甚大な被害を生じたことから、当会においても、三笠市と協働により義援金の募集を行ってまいりました。本年度も引き続き災害支援を行ってまいります。また、次の事業を中心に地域福祉活動をより一層推進してまいります。

主な事業

1、自立と社会参加活動の推進

- 社協支部活動費の交付
- 小地域ネットワーク活動の推進：ふれ愛チームモデル地区の指定・活動費助成
- ふれあいサロンへの支援・指導・助成
- ふれあい昼食会への助成
- 在宅重度障がい者戸外研修の実施
- ななかまど共同作業所など自立と社会参加の場づくりと組織化
- 老人の健康づくりと、生きがいづくりの推進

2、在宅福祉サービスの拡充

- めくもり除雪サービス事業(70歳以上の方、重度身体障がい者の方を対象に間口除雪、屋根窓等緊急除雪)
- 居宅介護支援事業(社協ケアプラン相談センター)：介護保険によるケアプ

3、地域福祉の拠点づくり

- ボランティアセンターを中心に、ボランティア活動の拠点としての整備
- ボランティアの拡充と育成のため、各種研修会、講座、スクール等の開催
- ボランティア連絡協議会の充実強化及び協力：ボランティアの中核として、活発な運営を目指します。
- 「料理教室」の開催

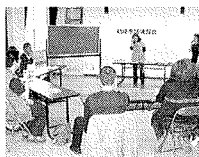
4、その他の主な事業

- 東日本大震災義援金の募集
- 赤い羽根共同募金運動、歳末助け合い運動への協力
- よろず相談所の開設

- ランの作成、要介護認定更新調査
- 生活福祉資金貸付
- 助け合い金庫

初級手話講習会

今年も初級手話講習会を5月から開催し、7月2日修了式が行われました。小学校1年生から大人まで9名の方が参加し、手話を学びました。声を出さなくても身振りや顔の表情で気持ちを伝えることが出来る技術を体験し、中には検定試験を受けてみたいとボランティア団体に加わり、活動を継続されている方もいました。講師として協力いただいた手話の会の皆様ありがとうございました。



男の料理教室【からだに優しい料理教室】

今年度第1回目の料理教室を6月19日に開催しました。今回のメニューは夏に向けて栄養バランスを考えた照り焼きチキン、ほうれん草とえのきの胡麻和え、豚汁の3品でした。男性を中心に10名の方が参加され、ボランティアひまわり会の方々と共に、おしゃべり等しながら和気あいあいと楽しく料理を楽しまれました。がんばって作った料理を全員で会食し、簡単な調理で予想以上の美味しさに、初めて参加された方も次回の参加を楽しみにしておりました。



ご相談ください

低所得者世帯等の
自立に向けての資金相談は

生活福祉資金

- ◎ 総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、緊急小口資金の貸付
- ◎ 貸付限度額：それぞれの区分により異なります。
- ◎ 貸付利率：連帯保証人がいる場合無利子、いない場合年1.5%など申請状況によります。
- ※ 他の貸付制度が優先になります。

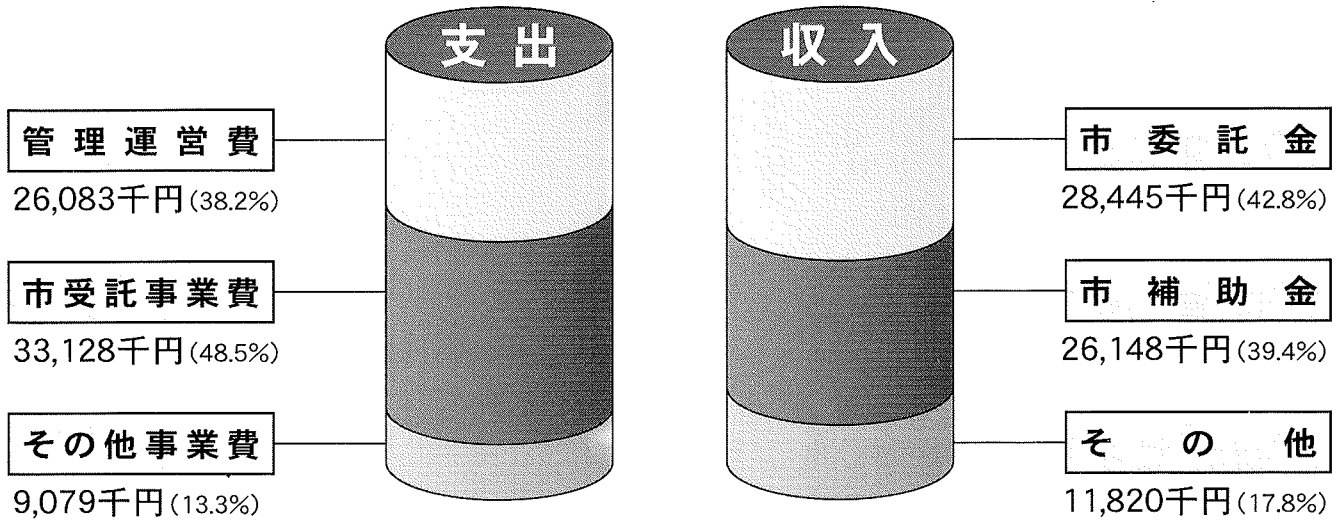
低所得者世帯の応急生活費の相談は

助け合い金庫

- ◎ 貸付限度額：1世帯3万円以内
- ◎ 返済期間：5ヶ月以内
- ◎ 貸付利率：無利子
- ※ 世帯主名での貸付になります。

詳細については社協事務局へ…

平成24年度 社協一般会計予算 68,290千円



平成24年度社協一般会計収入支出予算

(単位:千円)

支 出		収 入	
科 目	予算額	科 目	予算額
法人運営事業	26,083	会費収入	1,040
ぬくもり除雪サービス事業	12,240	寄付金収入	1,050
共同募金配分事業	1,714	経常経費補助金収入	26,472
ボランティアセンター事業	1,511	受託金事業収入	28,445
老人福祉センター運営事業	15,657	事業収入	1,067
共同作業所運営事業	5,231	貸付事業収入	3,000
助け合い金庫事業	3,000	共同募金配分金収入	1,714
地域活動事業ほか	2,854	負担金収入	30
		雑収入	600
		受取利息配当金収入	273
		経理区分間繰入金収入	692
		積立預金取崩収入	2,030
支出合計	68,290	収入合計	66,413

平成24年度公益事業会計収入支出予算

支 出		収 入	
科 目	予算額	科 目	予算額
居宅介護支援事業	5,805	介護保険収入	4,850
		雑収入ほか	968
支出合計	5,805	収入合計	5,818

平成24年度共同募金会計収入支出予算

支 出		収 入	
会 計	予算額	会 計	予算額
寄付金収入	7,399	寄附金会計	7,399
事務費会計	441	事務費会計	441
計	7,840	計	7,840

東日本大震災義援金・物資について 皆様の善意に感謝いたします

昨年3月11日に東日本大震災が発生しました。この期間、三笠市と社会福祉協議会が協働で義援金・物資を募集し、市民の皆様のご協力を頂き、本日までに8,579,434円が集まりました。(8月2日現在)これも一人一人では限られたことしか出来ないことが、市民の皆様のご熱意や、善意でこのような大きな力になることが出来ました。

義援金・物資は日赤本部を通して被災地へお送りし、被災地の皆様のご早急な復興をお祈りするとともに、市民の皆様へ深く感謝申し上げます。なお、この義援金は引続き9月30日まで受け付けています。

8月2日現在の義援金・物資の状況

義援金	区 分	件 数	金 額
	三 笠 市	403	4,462,085
	社会福祉協議会	348	4,117,349
	合 計	751	8,579,434

義援物資	品 名	数 量	個 数
	カ ッ プ 麵	30箱(10個人)	300個
	粉 ミ ル ク	25缶	25缶
	トイレトペーパー	23包(12ロール入)	276個
	箱ティッシュ	44包(5箱入)	220箱
	生 理 用 品	8包(20個)	160個
	紙 オ ム ツ	31包(10個人)	310個
	ノ ー ト	4包(10冊入)	40冊
	鉛 筆	117ダース	1,404本
	消 し ゴ ム	2箱(40個入)	80個
	絵 本	70冊	70冊
	そ の 他	タオル他	5点

受賞おめでとうございます

平成24年度
北海道町内会連合会会長表彰功労者表彰

- 扇 谷 知 巳さん 草 野 正 彦さん
- 仁 岸 特 彌さん 谷 津 邦 夫さん
- 川 元 松太郎さん

ライオンズクラブより 寄付をいただきました

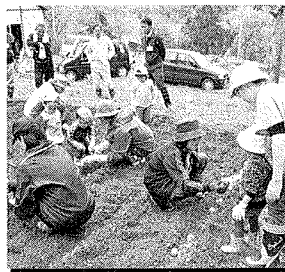


6月2日(出)ライオンズクラブ(会長 村田敏之様)のチャリティーゴルフ大会が開催され、今年もその大会でのチャリティー募金39,500円を寄付していただきました。

この寄付金は、心身障害者通所授産施設「ななかまど共同作業所」のために有効に使用させていただきます。

じゃがいも植え

本町にある老人健康農園で、児童館の子ども達が、畑を管理する老人クラブの皆さんと一緒にジャガイモを植えました。実りの時期には自分達でイモを掘って、とれたてを食べる予定です。収穫が楽しみです。



社会福祉基金 寄付者一覧 (敬称略)

《 H23.4.1 ~ H24.3.31 》

- | | | | |
|---------|-------------|---------|---------|
| 山 岸 スミエ | 川 村 初 男 | 石 岡 満 子 | 石 田 桂 子 |
| 阿 部 一 彦 | 三笠オールディズクラブ | 田 中 茉莉子 | 幸町東区町内会 |
| 川 森 康 二 | 広 地 勝 彦 | 門 田 隆 一 | 岩 田 哲 行 |
| 赤 川 美 道 | 山 崎 正 広 | 志 賀 光智子 | 岩 谷 志津子 |
| 杉 田 マサ子 | 駒 場 敏 子 | 大 割 敏 | 奥 塚 昭 男 |
| 庭 田 和 夫 | 土 屋 慶 子 | 清 水 よね子 | |
| 渡 邊 良 明 | 柿 崎 邦 子 | 岡 部 善 蔵 | ほか匿名3人 |

社協ケアプラン相談センター

をご利用ください

1. 相談内容～こんな事をしています。

- (1) ケアプラン作成～利用者の皆様一人ひとりに合ったケアプランをご本人、ご家族と一緒に考えホームヘルパー（訪問介護）、デイサービス（通所介護）、デイケア（通所リハビリ）、訪問リハビリ、訪問看護、福祉用具の購入・レンタル、住宅改修等の事業者を紹介します。
- (2) 各種書類申請代行～実際にご契約されて介護保険サービスを利用されている方の介護保険に関する書類等をご本人・ご家族に代わって市役所に提出します。
- (3) 各種相談・その他～介護保険サービス提供後も月1回以上利用者のお宅を訪問し、様々な相談等をお聞きし必要に応じてサービスの変更を致します。また、ご連絡を頂ければ、その都度、お宅に伺います。介護保険のサービスで対応できない時は、他の機関を紹介します。

2. 利用の対象になる方

介護保険で要介護認定を受けている方。（要介護認定を受けていれば生活保護の方も利用できます。）

3. 利用できない方

- (1) 介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設・病院等に入院（入所）されており退院（退所）の予定が決まっていない方。（施設・病院の担当のケアマネージャー・ケースワーカーにご相談下さい。）
- (2) 要介護度が要支援1・2と判定を受けている方（ふれあい健康センター内の地域包括支援センター（☎③2010）にご相談下さい）

4. 相談受付

8:30～17:00（土・日・祝日、12月30日～1月4日を除く）

三笠市社会福祉協議会 三笠市若松町10番地（市役所分庁舎内）

社協ケアプラン相談センター ☎②3151 / FAX③1515

社協だよりみかさ

発行 三笠市社会福祉協議会
 機関紙編集委員会
 事務局 三笠市若松町10番地
 （市役所分庁舎内）
 ☎2-3151
 FAX3-1515
 印刷 中央印刷株式会社

委員長 酒井 強
 副委員長 高橋 賢
 委員 門田 隆一
 吉田 倉法
 山名 正義
 吉倉 道幸

三笠市のおかれている状況は過疎、少子高齢化、高齢者世帯の増加など日本の縮図のような課題が山積しておりますが、そんな中でも地域福祉はやはり住民自ら自分たちで出来ることは、自分たちで！という住民の自立心が大事だと思います。それに伴い社会福祉協議会が地域福祉活動の中核的な存在として益々重要になって来ております。地域の住民の皆様方の更なるご理解、ご協力をお願いいたします。

社協機関紙
 編集委員